

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

関西アーバン銀行が、セキュアブレインの金融機関向け 不正送金・フィッシング対策ソリューション「PhishWall プレミアム」を採用

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:新保 勲、以下「セキュアブレイン」)は、株式会社関西アーバン銀行(本店:大阪市中央区、取締役会長兼頭取:橋本 和正、以下「関西アーバン銀行」)が、同行のインターネット・バンキングやホームページを利用する顧客を不正送金やフィッシングの被害から守る対策として、MITB(マン・イン・ザ・ブラウザ)攻撃対策を搭載したセキュアブレインの金融機関向け不正送金・フィッシング対策ソリューション「PhishWall(フィッシュウォール)プレミアム」を採用したことを発表します。

警察庁の発表によると、2016年の国内におけるインターネット・バンキング不正送金被害は16億8,700万円におよび、2015年をピークに減少傾向にあるものの、犯罪者による攻撃は依然継続されています。特にインターネットバンキングマルウェア(DreamBotやURSNIF等)と呼ばれるウイルスを感染させる目的で、大量のスパムメールが送信されています。これらのウイルスに感染したPCでインターネット・バンキングを利用した場合、不正送金の被害にあう可能性があります。これらの攻撃の多くは、インターネット・バンキングサイトへアクセスした際に通信をハッキングし、偽画面等を表示し送金に必要な情報を盗むMITB(マン・イン・ザ・ブラウザ)攻撃です。各金融機関は顧客に対して注意喚起を行っていますが、偽画面等は正規のサイト上で表示されるため顧客が偽物と見抜くことが難しく、注意喚起以外の具体策が急務となっています。

「PhishWallプレミアム」は、不正送金やフィッシングの被害を未然に防ぐためのソリューションです。顧客に無料配布される「PhishWallクライアント」と金融機関側で設定する「PhishWallサーバ」との間で認証情報をやり取りすることで、顧客のPC側から、アクセスした企業のWebサイトが真正なサイトであることを証明します。真正な場合、顧客のPCのブラウザに緑のシグナルが点灯し、ひと目でそのWebサイトが本物であることが確認できます。また、顧客が「PhishWallプレミアム」導入企業のWebサイトをブラウザでアクセスするタイミングで、顧客のPCがMITB攻撃型ウイルスに感染していないかをチェックします。感染の徴候を発見した場合は、赤のシグナルと、警告メッセージを表示し、不正な画面への入力を防ぎます。

「PhishWallプレミアム」は、MITB攻撃特有の「ふるまい」をチェックして検知するので、同様の「ふるまい」をする未知のMITB攻撃型ウイルスも検知が可能です。またウイルスを無効化する機能が搭載されています。顧客のPCがMITB攻撃型ウイルスに感染している場合でもウイルスを無効化することで、情報を詐取される危険な状態を回避することができます。

関西アーバン銀行は、ウイルスによるMITB攻撃や偽サイト誘導による不正送金の脅威から顧客を保護するために、「PhishWallプレミアム」の採用を決定しました。

セキュアブレインは、安全性向上のためのソリューション提供を積極的に推進し、「PhishWall プレミアム」を金融機関向け不正送金・フィッシング対策の標準ソリューションにしたいと考えております。

以上

PRESS RELEASE

セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、Web サービスを提供する事業者や企業にITセキュリティを届ける、サイバーセキュリティ専門会社です。「ネット犯罪からすべての人を守る」というミッションのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当:丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail: info@securebrain.co.jp 電話:03-3234-3001、FAX:03-3234-3002

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 7F

※ 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。